

# 注意・警戒情報

## スマートフォンから煙が！？ 知られていない充電時の思わぬ危険！！

スマートフォンを充電していたら、突然煙が出てきた。すぐに充電器から引き抜き確認すると、充電器との接続部分が焦げていた。携帯電話会社に連絡し調査してもらったが、後日、充電器との接続部分にほこりが入り、ショートしたことが原因との連絡があった。

普通に使っているのに、どうしてこうなったのか。

### アドバイス

スマートフォンの充電時に接続部分が過熱・発火したという相談が消費生活センターに寄せられています。

様々な原因が考えられますが、スマートフォンと充電器の接続部分にほこりや水分等の異物が入ることでショートし、加熱・発火へと至るケースがあります。また、接続部分に強い力が加わったことで中の端子が曲がり、発熱したケースも報告されています。

布団の上で充電していたら、引火し、火事になりかけたというケースもありました。充電する際にはこうした危険性があることを認識し、注意しましょう。

加熱・発火した場合はすぐに使用を中止し、携帯電話会社に相談しましょう。

事故に遭われた際は、消費生活相談窓口へ情報提供をお願いします。



消費生活相談は

消費者ホットライン



ゼロ・ゴ-・ナ・ゼロ 守ろうよ、みんなを！  
0570-064-370

(身近な消費生活相談窓口につながります。)

# 70歳以上の苦情相談件数が1位・「健康食品の送りつけ」が急増

## 平成25年度上半期 神奈川県内における消費生活相談の概要

### 苦情相談件数は？

平成25年4月から9月の、県内消費生活センター等で受け付けた消費生活相談の苦情相談件数は32,543件で前年度同期に比べ8.0%増えました。

### どんな相談が多かった？

苦情相談で一番多かったものは「デジタルコンテンツ( )」に関する相談でした。アダルトサイトで「年齢確認」をクリックしたら、いきなり登録となって、高額な入会金を請求されたといった「ワンクリック請求」に関する相談などが多く寄せられています。2位の「不動産貸借」に関する相談は、賃貸アパートの退去時の原状回復や敷金清算に関する相談などがあります。

携帯電話、パソコン等からインターネットを通じて得られる情報

### どの年代からの相談が多かった？

契約当事者を年代別にみると、前年度同期に2位であった70歳以上が、平成25年度上半期では7,111件(21.9%)で1位となりました。

次いで40歳代の5,703件(17.5%)、30歳代の4,665件(14.3%)と続きます。

苦情相談の上位10品目

順位	品目	相談件数
1	デジタルコンテンツ	5,174
2	不動産貸借	1,534
3	健康食品	1,391
4	工事・建築	1,321
5	商品一般	1,092
6	フリーローン・サラ金	720
7	ファンド型投資商品	679
8	携帯電話サービス	632
9	役務その他サービス	501
10	四輪自動車	464

### 特徴的な相談は？

「健康食品の送りつけ( )」に関する苦情相談が急増し、平成25年度上半期は889件で、前年度同期(43件)の約20.7倍になっています。「以前お申込みいただいた健康食品をこれから送ります。」などと突然電話があり、申し込んだ覚えがないと断ったのに強引に送りつけられたという相談が多く寄せられています。

「健康食品」に関する相談の中から「送りつけ」に当たるものを抽出しています。

## リコール情報を知りたいときは

リコールされた身の回り品による火災等の重大事故は年間100件以上も発生しています。

どのような製品にリコールが出ているのか、自分のうちにある製品にリコールは出ているか、などリコールについて知りたいときは

消費者庁リコール情報サイト <http://www.recall.go.jp/> をご覧ください

困ったときは、一人で悩まず地元市町村の消費生活相談窓口にご相談しましょう